

さらに詳しく(さらに深く、さらに広く)

# 漫画で学ぼう「人権獲得の歴史」

人権は、もともと人間に備わっているものですが、長い間、国王や領主等に奪われてきました。これに対して自然権(天賦人権論)という思想が登場しました。この思想は、世界人権宣言や各国の憲法(日本国憲法も)に反映されています。自然権の思想が後に人権という形で具体化され、人権を一人ひとりの手に戻すために多くの人たちが努力とたたかいを重ねてきました。

<p><b>自然権</b></p> <p>生命・自由・財産・健康の権利は、人間が生まれながらに持つもの</p> <p>ジョン・ロック (1632～1704)</p> <p>17世紀にイギリスで「人権」の元になる考えが登場</p> <p>①</p>	<p><b>自由権</b></p> <p>1789年フランス革命 フランス人権宣言 革命直後に国民議会発足</p> <p>「個の自由と法の下での平等」 「権力は憲法によって縛られる」</p> <p>②</p>
<p><b>参政権</b></p> <p>19世紀、普通選挙権獲得のための運動が展開され、参政権登場</p> <p>市民のための政治をするには、意見を政治に反映させる代表者を市民から選ぶことが必要！</p> <p>③</p>	<p><b>社会権</b></p> <p>市民による市民のための政治が行われるようになり、「貧富の差」が注目される</p> <p><b>ワイマール憲法</b></p> <p>人間らしい生活を送る権利である社会権が登場 (ドイツワイマール憲法制定・1919) 人権は、絶対的な権力を持つ君主から取り戻してきたもの！</p> <p>④</p>